

花の美、 素心の耀き

かがや

素心の耀き



大樹寺 第六十二世貫主

牧 達雄 氏

教育随想



月報 岡崎の教育

平成17年5月1日

5月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想	1
大樹寺 第六十二世貫主 牧 達雄氏	
この人に聞く	2
湘南シーレックス捕手 齋藤 俊雄氏	
羅針盤	2
社会科指導員 後藤 充人	
ふれあい	3
六名小 市川 岸江 北中 北岡 学	
特集	4
愛知万博と岡崎の子供たち	
お知らせ	6
フォト・ヒストリー	8
日中友好使節団(昭和61年)	
この本を	8

霞とみまがう桜の幔幕、繚乱と咲き匂う春の花々、萌え出るいのちの鼓動がある。

真夏の太陽に向かって、大きく花ひらくひまわり、真赤なカンナ、夏の花にはいのちの力強さを感じる。夏山の岩かげに人知れず花ひらく小さな名もなき花一輪、ルーペで観ると、したたるような、みずみずしさに耀いている。驚きである。

澄み切った秋の風にそよぐ野の花々、寂かな趣きは格別である。酷しい冬の寒さに耐え、馥郁と香りをただよわせ凜とさく寒梅に、いのちの厳しさが教えられる。

花は季節ごとに、それぞれが、とりかえられない美しさをもって耀いている。経文に「其華の光明、無量の種色」とある。種々の色かぎりな



く咲き乱れる華が、それぞれに光り耀く世界が説かれている。

花の世界が光り耀いておると同じように、人もまた、それぞれとりかえられない尊さをもっている。

「一点素心」という語がある。その解釈はさまざまであるが、私は人それぞれに、どこか一点、持つて生まれたキラリと耀くものがあり、それは天から与えられた素心であると思う。

この一点の素心をつつめ、大切にすることが教育の原点であり、それ

を花ひらかせるところに教育のいなみがあると思う。

ところで、この一点の素心がキラリと耀くには、それぞれの機縁がある。素心を信じ、機縁にふれるとき、親も子も、師も弟子も、感動し、真実にふれる。

この感動なくして、心の教育は口先だけの教育になり下がる。

花の美しさを感じるように、人それぞれの素心に情感を深めたい。

(まき たつおう)

※筆者は、平成十七年四月二日にご逝去されました。心からご冥福をお祈りいたします。



夢に向かって

湘南シーレックス捕手

齋藤 俊雄 氏

昨年末のドラフト会議で横浜ベイスターズに指名され、現在、二軍湘南シーレックスに在籍する齋藤選手。横須賀の球場でお話をお聞きすることができた。

お会いするやいなや、「ちょっと走ってきてからでもいいですか」といってグラウンドへ飛び出していった。「小さい頃からの夢がかない、素直にうれしい気持ちです。でも、人より練習しないと、一軍には上がりません。しかし、野球が仕事になっ

て、本当に幸せです。」

小学生のころからプロ野球選手になることを考えていた齋藤選手に子供のころの思い出をお伺いした。

「とにかく野球が好きでしたね。暇さえあれば、素振りをしたり、バッティングセンターに通ったり。遊びの一部でしたが、自分で納得できるまでやりました。」

岡崎南中学校に在学中、中部大会優勝という好成績を収めた。

「中学校の部活では、礼儀を教えていただきました。高校、社会人野球と進むにつれ、礼儀の大切さを感じました。中学時代に教えていただいたことをありがたく思いました。」
厳しい世界でも頑張るのは、これまでお世話になった人への恩返しでもあるという。



順調だった野球人生も、社会人野球時代には、所属チームの活動自粛により、活躍の舞台を失った。その経験から、野球に対する自分の考え方が変わったという。

プロ野球選手として何が大切かを尋ねた。

「自分の考えを持って取り組むことだと思っています。監督やコーチはいろいろアドバイスをしてくれますが、実際にピッチャーの球を打つのは自分です。だから、芯しんとなるような自分の考えを大切に練習を行っています。疑問点は納得のいくまでコーチに質問するようにしています。」

最後に、今後の目標をお聞きした。「できるだけ早く一軍で活躍することが夢です。でも焦っていません。まだ一年目ですから。プロの世界を探りながら、土台をしっかり作ってやっていきたいです。」

遠くを見つめ、はつきりと話す齋藤選手。どこまでも自分を信じ努力すること。これこそが、夢をかなえる一番の秘訣ひけつだと語っているように感じた。

氏名 さいとう としお
生年月日 昭和五十八年十二月二十三日
住所 神奈川県横須賀市長瀬町二一五五

社会科授業の一景

社会科指導員 後藤 充人

A 小学校四年生社会科の授業。おもむろにカードを取り出して地図記号を順次答えさせていく。それが終わると地図帳を出させ、索引から地名探しに移る。この間、わずか五分。子供たちは、楽しんでいる。これが毎授業のはじめにする社会科の基本事項習得の時間。

いよいよ、本時の授業『くらしをささえる水』に入る。「あなたたちは、水道水を安心して飲めますか」のB先生の発問に、子供たちは、次々と答える。答える子供は、自分で調べて、まとめた模造紙や見学のときに撮った写真を見せながら、身ぶり手ぶりで、発表する。うなずく子、首をかしげる子。しかし、どの子も、その発表者に体ごと目を向けて話をしっかりと聞いている。

しばらく浄水場の施設・設備面の発言が続いた。そこで、B先生は意



二人跳び

六名小 市川 岸江

「縄跳び集会」に向け、休み時間の運動場は、縄跳びをする子でいっぱいになる。

一年生のA子は、縄跳びが苦手だ。手首を使って縄を回すことや両足をそろえてのジャンプがうまくできない。「できない」と繰り返す言うばかりですぐに、座り込んでしまう。

「先生が縄を回してあげるから、跳んでみようよ。」

A子は嫌々跳んでみるが、タイミングがつかめない様子だった。次に「はい、はい」と声をかけるようにしたら三回続けて跳べた。A子の表情が少し和らいだ。

それから毎日、休み時間には、A子と一緒に縄跳びで遊ぶようにした。みんなで声をそろえて回数を数えた。「一、二、三……十回。やったね。」



見守っていた友達から拍手がわいた。

ある日、A子が私の手を引いた。

「先生、二人跳びをしよう。」

「ええっ、二人跳びができるようになったの。」

A子は、手をいっぱい伸ばして縄を回し、私はできるだけ身をかがめて跳ぶ。二人の息を合わせて、一本の縄の中で十二回跳んだ。

目の前に、A子のはじけんばかりの笑顔があった。



春に

北中 北岡 学

十一月、文化祭の夜だった。突然入ったメール「最高の思い出になりました。ありがとうございます」A子からだった。

そのA子。自尊心が強く、思ったことはすぐ口に出す。何でも舞台の中心にいないと気が済まない。合唱コンクールでも指揮者に立候補した。「おい、頑張れよ」と声を掛ける



ものの、心配は日に日に募る。指揮の善し悪しより、学級をまとめることができるかが勝負だった。

案の定、不安は的中、練習開始から、「みんなやる気が無いからもうやらん」「わたししか意見を言わない」しまいに保健室でふてくされる始末。事態は悪くなる一方。他の学級が進んでいく中で焦りも生じた。全てが暗礁に乗り上げた。

次の日、とうとう收拾に乗り出した。「合唱はみんなで創るもの、歌が一つになったとき、学級が一つになれる」私の指導は功を奏して、その日から多くの仲間が意見を出し合った。指揮を振るA子の表情も変わった。仲間がA子を見る目も変わった。

あのメールにかかわる一部始終である。三月、学級が終わる。A子がつぶやいた。

「ああ、もう一度みんな『春に』が歌いたいなあ。」

図的に、C君を指名し、「浄水場で働くおじさんたちが二十四時間、監視していてくれるから安心です」という意見を引き出した。ここから、働く人たちの努力工夫に目が向いた。さらに、付け足しの意見が続く。それは、ノートに調べたことが、たくさん、きちんと整理されているからである。

まとめとして、今日わかったことを書く時間になる。最後に一人を指名し、発表させた。終わりのあいさつが済んでも、ほとんどの子が席について、まとめの続きを書き始めた。

授業は、学級経営そのものだった。教師と子供たちが信頼し合っている。しかも、子供たち同士も温かい。なお、それ以上にB先生は、願う子供の姿をはつきり持っていた。単元の展開構想を見学・実地調査・調べ学習・聞き取り調査等、子供を主体にしてかわらせ、自分たちの生活と密着させる学習を進めた。そこから、自分で課題を見つけ、多くの情報を集め、整理し、表現することができる子供を目指していた。もちろん、基本事項の習得は最低限の力として身に付けさせている。

子供との信頼、授業にかける熱意は、子供たちを確実に、大きく育てていた。



愛知万博と

岡崎の子供たち

▲ 万博開会式リハーサル（南中・竜海中・常磐中・矢作中・矢作北中・六ツ美北中 長久手 EXPO ドーム）

連日にぎわう愛知万博に、岡崎の小学生がさまざまな場面でかかわっている。市内各小中学校は、この機会に世界を身近に感じさせ、「自然の叡智^{えいち}」を学ばせようと、それぞれに博覧会の見学会を計画し、実施している。

会場内で環境学習の成果を発表したり、各種音楽イベントで国内外の一流演奏者と競演したりと、市内の多くの子供たちは、万博にかかわるさまざまな取組にも積極的に参加している。こうした貴重な経験を通して、子供たちは大きな自信と豊かな心をはぐくんでいくことだろう。

また、子供たちは国際親善にもかかわっている。市のフレンドシップ国であるスウェーデンのイベントには、市内全中学校から代表生徒が参加し、国際親善の役割を担うことができた。そして翌日には、同国のビクトリア王女が梅園小学校を訪問された。歓迎レセプションに加え、子供たちと一緒に昼食もとられ、親しく交流された。さらに、書写の授業にも参加され、日本文化の一端を感じていただくことができた。

この万博を通して、子供たちが多くのものを感じ、未来に向けて大きな夢をはぐくんでくれることが期待される。



▲ 「おかざき^{たくみ}匠の会」の展示ブースでの石彫体験（城北中）



▲ にぎわう万博会場



▲ スウェーデンディの式典に参加（市内全中学代表生徒）



▲ 書写の授業に参加されるビクトリア女王（梅園小）

愛知万博にかかわる岡崎の子供たちの取組一覧

活動内容	参加校
前夜祭に合唱部が参加 3/24 愛知県芸術劇場	根石小・緑丘小・三島小 矢作南小
開会式典に合唱部（音楽部）が参加 3/25 長久手EXPO ドーム	南中・竜海中・常磐中・矢作中 矢作北中・六ツ美北中
スウェーデンディ式典に代表生徒が参加 4/6 長久手EXPO ドーム	市内全中学校
スウェーデン王女来校 4/7 梅園小	梅園小
グリーンマップの発表（5/3）と展示 瀬戸愛知県館	上地小（会期中） 六ツ美北部小一展示 8/13～22のみ
制作ビデオ KWN国際部門 最優秀賞 題「かけがえのない自然 四谷千枚田」 5/20～26 6/17～23 長久手EXPOピジョン	小豆坂小
ジャパンディ式典に合唱部（音楽部）が 出演 6/6 長久手EXPO ドーム	南中・竜海中・常磐中・矢作中 矢作北中
渡辺貞夫リズムワールドに合唱部（音楽 部）が出演 6/7～10 長久手EXPO ドーム	南中・竜海中・常磐中・矢作中 矢作北中・六ツ美北中
高学年がボランティアとして活動 6・8 長久手会場	羽根小
五大陸EXPOリズムフェスタに合唱部 （音楽部）が出演 6/11、12 長久手EXPO ドーム	南中・竜海中・常磐中・矢作中 矢作北中・六ツ美北中
箏（選択授業）演奏 6/12 瀬戸野外劇場	常磐中
新聞社出前授業 6/17、22、23、24 （万博見学をして新聞作りを体験する）	上地小
ジャパンウィークに合唱部（音楽部）が 出演 8/17、18 長久手EXPO ドーム	南中・竜海中・常磐中・矢作中 矢作北中・六ツ美北中
郷土芸能クラブ発表（御殿万歳） 9/3（おかざきの日）長久手愛知県館	細川小
「昆虫」をテーマにした工作の展示 （会期中）瀬戸愛知県館	梅園小・男川小・緑丘小・岡崎小 六名小・竜美丘小・福岡小・本宿小 常磐東小・細川小・六ツ美中部小 上地小・大樹寺小・六ツ美南部小 竜海中・葵中・福岡中・甲山中
「暮らしのこよみ」をテーマにした絵（CD ケースに描かれたもの） （会期中）瀬戸愛知県館	六ツ美中



▲ 万博前夜祭「幻想交響コンサート」（根石小・緑丘小・三島小・矢作南小 愛知県芸術劇場）

お知らせ



● 教育最新情報

○ 基礎学力向上教材の活用

平成十四年度から新学習指導要領が完全実施されたことは、記憶に新しいところである。大きな特徴としては総合的な学習の時間の創設が挙げられる。これは「ゆとりの中で『生きる力』をはぐくむ」との方向性が示されたことにある。しかし、その一方で、従来の教科学習に充てる指導時間・内容の大幅な削減があった。

これに伴う基礎学力の低下を懸念した本市では、教科指導員を中心として、独自にドリル問題や教材を作成し、各校へ配付することにした。

さらに、平成十五年度の学習指導要領の一部改訂により指導内容に関わる「歯止め規

定」を見直すといった通知を受け、現在使用の教科書内容を

を超えた発展的な内容や新規に評価問題を加えた新たな

「基礎学力向上教材」を作成し配付した。これは、基礎学

力の定着と同時に個に応じた指導の一層の充実を図ったも

のである。

以下、小学校における本教材の主な特徴を示したい。

■ 国語科

- ・ 単元ごとではなく、指導要領の観点ごとに作成した。
- ・ 増し刷りして児童に配付する部分と、教師指導用の部分の併用とした。

■ 社会科

- ・ 一問一答式の問題と記述式の問題により、知識習得だけでなく資料活用能力や思考力向上を図った。

■ 算数科

- ・ 発展的な内容を多くし、習熟度に応じた活用に工夫を凝らした。
- ・ 同じ内容であっても種類を多くすることで基礎学力の定着を図った。

■ 理科

- ・ 発展的内容の指導に役立つ具体的指導案例集とした。

今、児童生徒の学力低下を危惧する声が高まっているが、本市に関しては、そうした憂慮に対して先行的に対処してきた。その成果が維持されるためにも、授業や家庭学習等において積極的に活用されることを期待したい。



▲ 基礎学力教材を活用しての授業

● 十年経験者研修を通して

三島小学校 成田 隆行

開校式で藤井教育長より、教師の力量とは「指導性」「専門性」「人間性」であるというお話をいただいた。私にとってまさにこの三つの力を伸ばす研修となった。

○ 指導性を高める「異校種体験研修」

今回、小学校の授業者として授業研究をする機会に恵まれた。幼稚園・中学校・高校・養護学校の先生方に体育のマット運動の授業を公開した。

協議会では、各校種の先生方から貴重なご意見をいただいた。活動の場の設定の仕方から授業に臨む準備のあり方まで、普段の実践では気付かなかったことを再認識し、小学校教師としての指導性を高めるよい場となった。

○ 専門性を高める「特定課題研究」

自分の専門分野である社会科と、総合的な学習の時間をリンクさせた実践を研究的に行った。単元は「わたしたちの生活とごみ問題」である。

子供の意識の流れを大切にしながら、単元の中に三回の話し合いの場を設定し、子供の認識の深まりを図った。また、総合的な学習の時間では、ごみを減らす方法を深く追究する中で、最後には自分たちでフリーマーケットを開くグループも出てきた。社会認識を深める単元構成、人材の生かし方、個に応じた支援などを深く研究する場となった。

○ 人間性を高める「社会体験研修」

夏休みに三回、「ケアハウスおとがわ」での社会体験研修を行った。お年寄りや職員の方と接する中から、人を敬い、人から学ぶ謙虚な姿勢の大切さを学んだ。



▲ フリーマーケットに出店する子供たち

◆平成十七年度校長会役員

＜中学校校長会＞

会長 河合 好文(南 中)

副会長 金子 一元(小豆坂小)

石原 雅充(竜南中)

杉本 佳子(美合小)

永田 邦雄(根石小)

明保 俊通(矢作北中)

庶務 江村 力(大樹寺小)

長坂 正延(葵 中)

庶務補佐 浅井 稔(六名小)

会 計 福應 謙一(連尺小)

大久保慎一(竜海中)

河村 喜美(城北中)

山本 光昭(細川小)

近藤 健一(矢作西小)

野本 欽也(大門小)

神尾 心一(広幡小)

本多 久勝(六美北)

早川 正春(竜美小)

川瀬 哲夫(上地小)

神尾 光伸(梅園小)

松井 伸市(矢作南小)

千賀 敏之(福岡中)

鈴木 育男(六美北中)

石原比朗志(美川中)

菅原 秀美(河合中)

尾崎 芳信(矢作中)

河合 安男(北 中)

＜小学校長会＞

会長 金子 一元(小豆坂小)

副会長 杉本 佳子(美合小)

江村 力(大樹寺小)

会 計 監査 永田 邦雄(根石小)

庶務 浅井 稔(六名小)

会 計 福應 謙一(連尺小)

会 計 補佐 早川 正春(竜美小)

＜中学校長会＞

会長 石原 雅充(竜南中)

副会長 明保 俊通(矢作北中)

会 計 監査 千賀 敏之(福岡中)

庶務 鈴木 育男(六美北中)

会 計 大久保慎一(竜海中)

会 計 補佐 河村 喜美(城北中)

＜専門委員会委員長＞

法制 長坂 正延(葵 中)

理財 河村 喜美(城北中)

給与 金子 一元(小豆坂小)

文教 鈴木 由郎(甲山中)

進路 岩月 慎目(六ツ美中)

研修 川瀬 哲夫(上地小)

保体 鈴木 育男(六美北中)

福安 野本 欽也(大門小)

給食 石原比朗志(美川中)

広報 大久保幾三(生平小)

生徒指導 坂井 節(東海中)

◆平成十七年度研究発表校

●六月十日 竜海中学校

「自ら学ぶ力を高める生徒の育成」

―教科学習を中心に―

●九月三十日 小豆坂小学校

「個が活き、個が輝く、生活科・『かがやきタイム』の充実

―確かな観察力に裏づけられた豊かな表現力を育む教育実践を通して―

●全日本音楽教育研究会全国大会

十月十三日、十四日

根石小学校・緑丘小学校

矢作南小学校・矢作中学校

竜南中学校

「いま、音楽に夢中 ひろがる学びのステージ」

●十月十八日 六名小学校

「響き合いを生かし、豊かな自分づくりを進める子の育成」

●科学教育研究会全国大会

十一月四日 上地小学校

「科学が好きな子どもを育てる『上地学習』」

●十一月九日 常磐東小学校

「『できたよ』『わかったよ』学びたい算数の学習

―自ら生かし、ともにひびき合う学習の場づくりを通して―

●十一月二十二日 北中学校

「新北中教育への挑戦 ―君の笑顔を求めて―」

◆平成十七年度教育委員学校訪問

●五月十二日 美合小学校

●五月十九日 甲山中学校

●六月十六日 羽根小学校

●六月三十日 梅園幼稚園

●九月八日 六ツ美北小学校

●九月二十二日 常磐南小学校

●十月六日 城北中学校

●十月二十日 常磐小学校

●十一月十日 六ツ美中学校

●十一月二十四日 竜谷小学校

●一月十九日 奥殿小学校

●二月九日 矢作北中学校

●二月二十三日 藤川小学校

◆平成十七年度県教委教職員課訪問

●十一月十四日 常磐中学校

●同 城南小学校

※その他に主事訪問を予定。

◆平成十七年度特別委員会

●市民大学運営委員会

●月報「岡崎の教育」編集委員会

●教員の研修に関する委員会

●学校環境緑化推進委員会

●野外活動委員会

●情報教育推進委員会

●行事・部活動研究委員会

●学校週五日制研究委員会

●特色ある学校づくり委員会

●郷土読本編集委員会

●教育課程第一研究委員会

●教育課程第二研究委員会

◆その他の関係委員会等

●岡崎市就学指導委員会

●岡崎市中学校特殊学級進路指導委員会

●岡崎市特別支援教育連携協議会

●岡崎市OC連絡協議会

●岡崎市いじめ不登校対策協議会

●中学校区児童生徒健全育成連合協議会



▲現職研修委員会総会 (梅園小 4月18日)

・カ
ツ
ト

六ツ美北中 杉崎 秀夫

日中友好使節団

(昭和61年)

写真提供：竜南中学校



昭和六十年三月、中華人民共和国呼
和浩特（フフホト）市長が表敬訪問し
た。それ以来両市の交流が始まった。
竜南中学校には、翌六十一年四月十
四日、日中友好使節団が呼和浩特市民
政府代表団として来校。開校間もない
本校にとって、初めての海外からのお
客様であった。

学校の「熱烈歓迎」に迎え、使節団
団長の賈才呼和浩特市長から贈られた
書「桃季満天下」は、今でも職員玄関
に飾られている。

この本を



- * 風土から文学への空間 若山 滋
新建築社 ¥2800
- * 仏教「超」入門 白取 春彦
すばる舎 ¥1500
- * あたりまえだけどとても大切なこと
ロン・クラーク ¥1400
- * 丹下健三 丹下 健三 他
太洋社 ¥28500

* 屋根 伊藤ていじ ¥2800
淡交社
近頃の住宅の屋根は、洋風の瓦が多くなり、カラフルな町になっている。本書は古い民家からお城まで、屋根が語る建築史である。屋根を葺いた材料別に編集してあり、材料の違いで形、温かさ、ボリューム等大きな違いがある。写真も素晴らしく、住んでいる人、空気、においまで感じる。屋根の種類は、茅屋根、樹皮屋根、板屋根、瓦屋根、石屋根、金属屋根、土屋根の7種類。特に茅屋根、樹皮屋根に美しいものが多い。

男の子の節句である五月五日。もともと、未来を担う子供たちに、丈夫でたくましく育って欲しいとの願いからできた祝日である。

そのような先人の願いを今一度思い起こし、充実した楽しい祝日を送って、いる子供たちが多いことを願う。

潮干狩りに適した季節になった。冷たかった水も多少ぬるみ、心地よく感じられる。

食卓に並ぶ料理に季節を感じさせる食材が少なくなつたと言われるこの頃、自分で採ったアサリで食卓に春を運ぶのも一興である。旬の味は格別。

シオ スア

愛知が元気だ。万博の開催、中部国際空港の開港。経済が元気なのも愛知であるし春の甲子園では愛知県代表が優勝した。

日本中の、いや世界中の注目を集めている愛知。学校からの万博見学も始まった。「愛知の子供たちも元気だ」と世界にアピールしたい。

スウェーデンの王女と楽しい昼食の時間を共有した子供たち。王女の優しいお人柄に触れ、遠く北欧の国がぐっと身近なものに感じられるようになった。こうした経験が、まだ見ぬ世界への興味・関心の高まりとなり、進んで世界とかわらうとする子供を育てていく。